

# コンピュータ囲碁 vs 人間の 熱き戦いを表現したポスター

個人ワーク 制作期間 2015/4 - 2015/5

## 赤を中心にした配色で熱き戦いを表現

「コンピュータ」とだけ見ると冷徹な印象があるが、今回のイベントはコンピュータ囲碁が人間に挑戦するイベントであったため赤を中心にした配色で戦いの熱さを表現した。他にも碁盤の色である茶色に赤みを増した色も使った。

## 囲碁の緊迫感を白抜き大きな文字で表現

相手の先の先を手を読み合う囲碁の緊迫感を伝えたかったためタイトルを白抜きの大きな文字で表現した。文字は碁盤の線をはみ立たせ勢いをつけポスターを見た時にショックを与えるようなデザインにした。

## 大事な情報「開催日時」「会場の情報」を中央に

日曜日に行われること、公立はこだて未来大学で行われることが来場者を増やすことにつながると考えポスターの中央に配置した。この日、この場所なら行けるという人を逃さないように考えた。



コンピュータ将棋はすでにプロ棋士と並ぶ実力がありますが、囲碁は将棋に比べてコンピュータにとってはあるか  
にむずかしいため、まだアマの五、六段程度の実力しかありません。人工知能研究にとって囲碁は非常にいい題材になっ  
ています。人工知能学会全国大会の会場で人間対コンピュータの対戦を行います。今年は会場の函館にゆかりのあるプ  
ロ棋士の下坂美織二段に、コンピュータ囲碁世界一のZENがハンディをもらって挑戦します。解説はプロ棋士の小林  
覚九段にお願いしています。ぜひお越しください。



解説  
小林覚

55 歳、1987 年 9 段に昇段。長野県松本市出身。日本棋院東京本院所属。1976 年に第 10 回棋道賞新人賞受賞。2006 年には史上最高の勝率 .682 で通算 900 勝を達成、2011 年には通算 1000 勝を達成する。



棋士  
下坂美織

27 歳、2011 年 2 段に昇段。北海道帯広市出身。日本棋院東京本院所属。高校時代、2004 年に全国高校選手権女子個人において 2 年連続優勝。同年、第 46 回女流アマ囲碁選手権で優勝。2006 年には全日本学生十傑戦 6 位入賞を果たす。2012 年には第 3 回兵聖杯世界女子囲碁選手権で日本代表に選出される。



ZEN 開発者  
加藤英樹

チーム DeepZen 代表。(チーフプログラマ尾島陽司) 尾島陽司が 2005 年頃から開発を始めたプログラム。2009 年にネットワーク並列部を加藤が担当し、チーム DeepZen を結成。2011 年は 28 大会に参加して 25 回優勝、2012 年は 20 大会で 16 回優勝など、世界最強を誇る。PC4 台 (計 30 コア) のクラスタを使用。商品版は「天頂の囲碁」シリーズ/マイナビ。